



BIRDおおたけ

大塚 一省 Kazumi Otake
IN・COM株式会社
代表取締役社長
アーティスト・アートディレクター



株式会社リクルートに28年間勤務。メディア制作局エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクターとして、主に高等教育機関の部門を担当。学生募集の広報プラン、UI（ユニバーサル・アイデンティティ）、SI（スクール・アイデンティティ）、VI（ビジュアル・アイデンティティ）などブランディング広報戦略に幅広く携わる。その一方で「アナログとデジタルの関係」をテーマにしたアート活動によるプロジェクトを行う。

2003年に独立し、現在の事務所を設立。リクルート時代の経験をいかした広報活動に加え、オリジナルメソッド「BIRD-KISS」を活用した大学や企業や行政などの組織活性化、インナーブランディングを手掛ける。また、子どもたちのアート活動「ぬり絵やらくがきを通して、多様性の中で光る自分への気づき、セルフエスティーム（Self-Esteem）を高めるワークショップ」を積極的に展開。那須高原にあるBIRDステーションという情報発信基地を世界の子どもたちとのハブ機能として常設。他にもBIRD美術館を併設した自治体の文化施設でのワークショップを定期的開催。また、ネットを通じた参加型ワークショップBIRDウェブ美術館を実験的にオープン。

●BIRD-KISSコミュニケーションアートメソッド；気づいたターゲットと深いところでコミュニケーションできるのがアートの良さ。アートとは、「あっ、こんな世界知らなかった！」という、なにかニンマリとした喜び、未知の世界を頭だけでなく、五感で感じるができるもの。それをきっかけに自分を見つめることのできるアート。

そんなメソッドをつねに考えてゆきたい。●JAGDA日本グラフィックデザイン協会会員

●日経主催デジタルパブリッシンググランプリで「BIRD」が大賞を受賞

●活動

21世紀を生きる子供たちのためのBIRD-KISS（アートコミュニケーションプロジェクト）として、100種類の創作BIRDのぬり絵を中心としたワークショップを各地で積極的に展開しています。「自分らしく、他人を認めあい仲良く」をテーマに、セルフエドケーション（しなやかで、自由で、生きること自体が、知らない間に、学ぶことになっているようなスタイル）の大切さを伝えていきたいと思っています。ぜひ、ホームページをご覧ください。

BIRD-KISSのめざす世界。

もともと誰もが持って生まれた存在価値を取り戻し、フラットなヒエラルキーのために自分自身をリセットする。そのきっかけづくりとなる試みがBIRD-KISSの役割です。自分を大切にし、自分を愛することが、地球愛へのスタート。そして自己愛から他者愛へ。さらには大きなネットワーク（パブリック）となって、地球規模の愛へ広がってゆく。BIRD-KISSは、アートコミュニケーションを用いたメソッドを通して。アートからの気づきによる文化的社会の形成をめざしています。

たかがぬり絵、されどぬり絵。

BIRDを用いたアートコミュニケーションは、子どもはもちろん大人まで、自己投影しやすいシンプルな表現を通して、誰もがオリジナリティを大切にし、自らの作家性を発揮し、素直な自己表現を可能にする。そんなパーソナルアートの時代を構築するためのBIRD-KISSメソッドです。